『時 事 直 言』No.1829　2026 年 10 月 5 日国会議員号
[HP] http://chokugen.com/
[FAX] 03-3956-1313　　[mail] info@chokugen.com
[X(旧 twitter)] t_masuda2019/　[instagram] t.masuda2026
[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

トランプ命がけのトランプダラー（T$）

先週末から送っている「小冊子 Vol.161」をご購読下さい。
最後の砦（基軸通貨の特権）を失い、潜在的財政破綻状態に陥っているアメリカの救世主として登場したトランプが二つの戦略でアメリカを再び世界の覇権国にしようと虎視眈々と狙っていることをわかりやすく解説している。
会社が倒産しそうになると会社更生法で出直すように、トランプは資本主義の”Scrap and Build”（破壊と再建）の原理で戦後のアメリカを破壊し、再建しようとしている。
金（1971 年 8 月 15 日）や原油（2024 年 6 月 8 日）の裏付けを失った今日、トランプはドルを新たな裏付けとペッグすることで再び世界を覇権下に置こうとしている。
裏付けを持ったドルを財務省が発行するか FRB が発行するかで、世界ドル覇権は変わらないが、トランプの肉体が、生きるか死ぬかの危機に追い込まれる。
「自分のモノは自分のモノ、他人のモノも自分のモノ」がトランプ哲学。
アメリカ合衆国の通貨（ドル）が合衆国のモノでなく、100%ユダヤ資本が株主の 12 の連銀からなる FRB のモノであることにトランプは以前から通貨詐欺と称しているからトランプダラーは財務省（合衆国）発行になるだろう。
ケネディ大統領は大統領令でドルを財務省が発行することを決め、最初に発行されたドル札が銀行に輸送されることになっていた 1963 年 11 月 22 日に暗殺され、結果財務省発行のドル札が流通することはなかった。
新たな裏付けとペッグさせるドル札は財務省発行のトランプの顔の 100 ドル札か、それとも今使われているベンジャミン・フランクリンの 100 ドル札か？！
フランスのマクロン大統領はトランプの顔を望むだろう。
手が省けるから、、、、、？！

★小冊子 Vol.161 は大好評発売中！
お申し込みは https://www.musrjec.com/ より

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」
いつでも繰り返し何度でも視聴可能！
皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。
【配信予定内容】〇損をさせない「早朝株式指南」〇本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtube の視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：http://chokugen.com/ ）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。